

目次

IPC分類	ページ
Aセクション 生活必需品	1
Bセクション 処理操作；運輸	5
Cセクション 化学；冶金	10
Dセクション 繊維；紙	該当なし
Eセクション 固定構造物	16
Fセクション 機械工学；照明 加熱 武器 爆破	17
Gセクション 物理学	18
Hセクション 電気	23

本冊子についてのお問い合わせ先
埼玉大学
オープンイノベーションセンター
知的財産部門
TEL：048-858-9106
FAX：048-858-9120
MAIL：chizai@ml.saitama-u.ac.jp

Aセクション 生活必需品

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
エネルギー	快適度センサおよびこれを用いた空気調和装置	人の感じる快適度を推測する快適度センサ、及び係る快適度センサを用いた空調装置に関する発明であり、業務用或は家庭用エアコンや、自動車のカーエアコンへの応用が期待できる。	綿貫啓一		A61B	2012-209365	24.9.24			1207-14
社会基盤	変位抑制装置	地震等において、什器や機器等の設置物の変位(水平方向・回転方向等)を抑制するなどの変位抑制装置に関する。	斎藤正人		A47B	2011-133389	23.6.15	第5659090	26.12.5	1104-02
社会基盤	自律移動車椅子	介護者の負担を軽減すると共に、車椅子利用者が自律した存在として他人の目に映る動きが可能な自律移動車椅子。	久野義徳		A61G	2008-027708	20.2.7	第5219535	24.3.15	0712-32
社会基盤	自律井移動車椅子	コンパクトなセンサ機構を用いて、周囲の状況に応じた知的な自律行動が可能。	小林貴訓		A61G	2009-019767	21.1.30	第5084756	24.9.14	0901-41
社会基盤	コミュニケーションロボットとその動作方法	介護ロボット、ガイドロボット、店員ロボット、ウェーターロボット等のサービスロボットに広く適用可能。	久野義徳		A63H	2007-213775	19.8.20	第4949969	24.3.16	0707-16
製造技術	維管束食物の健全化方法、維管束食物へ灌水方法、フィルム状エレクトレットセンサ及びフィルム状ECMアレイ	高価な装置を用いず、且つ野外においてエンボリズムの危険度や相対的なエンボリズムの密度が測定可能で、これにより、維管束植物への灌水時期及び灌水量を決定することのできる灌水方法、及びこの灌水方法に用いるフィルム状エレクトレットセンサ及びフィルム状ECMアレイの提供。	陰山健介		A01G	2010-541341	21.12.3	第5413783	25.11.22	P0810-25JP (外国出願済/US,EP,)
製造技術	乾燥植物体の製造方法	自然の生花や植物が有する色、香り及び感触を保持した乾燥植物体を提供でき、かつこの乾燥植物体は、長期間、この色、香り及び感触を保持し続けることが可能となる。	金子康子		A01N	2010-530749	23.1.19	第5560193	26.6.13	P0809-16JP
製造技術	カラーマーキング法とカラーマークが形成された糖衣製品	医薬品や食品など、各種の製品を製造する分野において、その製品に直接、識別情報を付与。	池野順一		A23G	2007-327159	19.12.19	第5280046	25.5.31	0710-22
製造技術	はちみつ及びその製造方法	通常のはちみつ製造は、花蜜が豊富な季節にのみ行われているが、本発明の方法によれば、花蜜が乏しい季節である晩秋から早春にかけても、カエデの樹液は採取できることから、この季節にもはちみつ製造が可能となり、はちみつ製造業の稼働率向上にも寄与できる。さらに、各地で有名となっている樹木の樹液や果実を原料としたはちみつを地域ブランド商品とし、地域活性化や自然環境保全の手段としても利用できる。特に樹液を原料とした場合、樹木の保全が山林の保全に繋がることが期待される。	菅原康剛	NPO法人秩父百年の森	A23L	2010-117177	22.5.22	第5641780	26.11.7	0902-45Pro

Aセクション 生活必需品

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
製造技術	超音波干渉縞を用いた形状解析方法及び装置	超音波を用いて物体の表面や背面、或は内部の空隙などの形状を表示させる方法並びに装置を提供する。本発明によれば複雑な装置構成や調整手順を要することなく、被検体の形状を立体的に把握することが可能となる。	加藤寛		A61B	2004-209468	16.7.16	第4392497	21.10.23	0405-04P
製造技術	カラーマーキング法とカラーマークが形成された糖衣製品	医薬品や食品など、各種の製品を製造する分野において、その製品に直接、識別情報を付与。	池野順一		A61K	2007-327159	19.12.19	第5280046	25.5.31	0710-22
ライフサイエンス	シウ酸濃度が低減された植物体の製造法	野菜などの植物に放射線を所定の手順で照射することによって、人体や動物に対し有害なシウ酸の含有量を低減させた植物を提供する。	川合真紀	独立行政法人 日本原子力研究開発機構	A01G A01H A23K A23L	2013-023290	24.2.8			1206-09
ライフサイエンス	糖転流の促進方法	植物細胞中においてRSX1遺伝子の発現を増大させるなど、その発現を調節し、該植物細胞を含む植物の糖転流を制御する方法である。また、本発明は、糖転流が野生型とは異なる様式に変更された植物である。さらに、本発明には植物の糖転流経路を変更するためのキットも含まれる。	西田生郎		A01H	2010-110837	22.5.13	第5669083	26.12.26	1002-62
ライフサイエンス	穀物粉体及び応用食品	穀物粉体及びこの穀物粉体を原料として用いた食品に関する。本発明の穀物粉体は、水溶性食物繊維の一種であるβ-グルカンの含有量が高い大麦またはオーツ麦の粉碎品である。	円谷陽一		A21D A23L	2010-241161	22.10.27			1010-27P:JP (外国出願済 /US,KR,CN,UK)
ライフサイエンス	血管手術後の血流配分を予測する方法及び予測プログラム	本発明は、末梢血管抵抗を見積り、手術後の血管形状の予測から血流配分量を推定するものであり、血管バイパス手術後の血流配分量のシミュレーションなどの分野に利用が可能である。	中村匡徳		A61B	2013-170839	25.8.20			1303-56
ライフサイエンス	シアリルラクトサミン結合デンドリマー化合物	インフルエンザウィルスによる感染阻害活性が高いデンドリマー化合物(樹状高分子化合物)を提供する。本発明による化合物を含有する医薬は、ウィルスの感染予防やその治療において極めて高い効果が期待できる。	幡野健	静岡県立大学	A61K A61P	2005-077276	17.3.17	第4930929	24.2.24	0502-26
ライフサイエンス	カテプシンE特異的阻害剤	自己免疫疾患に対する創薬。	西垣功一	独立行政法人 科学技術振興機構	A61K A61P	2006-166952	18.6.16	第4979992	24.4.27	0601-30
ライフサイエンス	シアロ酸チオグリコシドポリマー	インフルエンザウィルスの感染制御に効果を示す水溶性ポリマーの提供。	松岡浩司		A61K A61P	2006-260450	18.9.26	第5103613	24.10.12	0605-07
ライフサイエンス	チオグリコシド酸結合デンドリマー化合物	インフルエンザウィルスの感染制御に効果を示すデンドリマーの提供。	松岡浩司		A61K A61P	2006-226338	18.8.23	第5282258	25.6.7	0605-08

Aセクション 生活必需品

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
ライフサイエンス	チオシアロシド型オリゴ糖を含む糖鎖デンドリマーの製造方法及びその利用	タミフルR(リン酸オセルタミビル)耐性ウィルス対応インフルエンザ薬。インフルエンザウィルスのノイラミニダーゼ活性を有効に阻害する、抗インフルエンザ薬の開発。	松岡浩司	中部大学	A61K A61P	2009-055892	21.3.10	第5481731	26.2.28	0802-39Pro
ライフサイエンス	シアリル α (2→6)ラクトースを含有化合物及びその使用	タミフルR(リン酸オセルタミビル)耐性ウィルス対応インフルエンザ薬。インフルエンザウィルスのノイラミニダーゼ活性を有効に阻害する、抗インフルエンザ薬の開発。	松岡浩司	中部大学	A61K A61P	2008-059624	20.3.10	第5283033	25.6.7	0803-41
ライフサイエンス	シアル酸誘導体の製造方法とインフルエンザウィルス阻害剤としての利用	皮内、皮下、経口(例えば、吸入なども含む)、経皮及び経粘膜への投与を含み、治療上適切な投与経路に適合するように製剤化可能。	松岡浩司		A61K A61P	2008-150046	20.6.9	第5327839	25.8.2	0804-02
ライフサイエンス	乳癌の検出方法	乳癌の診断又は予後予測を可能とする腫瘍マーカーに関する。また本発明は、カテプシンEタンパク質、カテプシンEの変異タンパク質、前記カテプシンEタンパク質又はその変異タンパク質のペプチド断片、並びにカテプシンEタンパク質の発現及び活性の促進作用を有する物質からなる群から選択される少なくとも1つを含む、乳癌を予防するための医薬組成物の提供。	西垣功一		A61K	2009-297006	21.12.28	第5532216	26.5.9	0910-35
ライフサイエンス	新規な成長ホルモン分泌促進因子受容体阻害ペプチド	成長ホルモン受容体の働きを抑制する阻害剤としてのペプチド(各種のアミノ酸が繋がってできた分子系統群)の提供を目的とする。成長ホルモンの分泌過剰に起因した巨人症等の疾患に対する治療薬開発に大きく貢献できる。	坂井貴文		A61K	2010-052626	22.3.10	第5697127	27.2.20	0912-47
ライフサイエンス	糖鎖担持デンドリマーからなる標的選択的薬剤放出担体	所定の薬剤を包み込み、これを体内の標的部位まで送達して放出する薬剤放出担体および該担体に薬剤が内包された医薬を提供する。正常な体内部位に対する薬剤の影響を低減できるので薬剤の副作用の軽減が図れる。	幡野健		A61K	2010-183559	22.8.19	第5629888	26.10.17	1003-67Pro
ライフサイエンス	ナーザルCPAP素子	呼吸補助を必要とする未熟児を対象とした顔面装着型の小型呼吸管理補助装置。装着が容易であり、かつ鼻腔狭窄等の危険を低減させる効果がある。	川橋正昭		A61M	2003-121639	15.4.25	第3918057	19.2.23	0303-19
ライフサイエンス	ネーザルCPAP素子	未熟児を対象とした顔面装着型の小型呼吸補助装置であり、自発呼吸に応答する呼吸補助動作安定させ、従来品に比べてその信頼性を高めた事の特徴とする。	川橋正昭		A61M	2006-054494	18.3.1	第4710015	23.4.1	0602-40

Aセクション 生活必需品

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
ライフサイエンス	新規な成長ホルモン分泌促進因子受容体阻害ペプチド	成長ホルモン受容体の働きを抑制する阻害剤としてのペプチド(各種のアミノ酸が繋がってできた分子系統群)の提供を目的とする。成長ホルモンの分泌過剰に起因した巨人症等の疾患に対する治療薬開発に大きく貢献できる。	坂井貴文		A61P	2010-052626	22.3.10	第5697127	27.2.20	0912-47

IPC (サブクラス)

- A01G 園芸;野菜, 花, 稲, 果樹, ぶどう, ホップ, 海草の栽培;林業;灌水
- A01H 新規植物またはそれらを得るための処理;組織培養技術による植物の増殖
- A01N 人間または動物または植物の本体, またはそれらの一部の保存
- A21D 베이킹의 穀粉または生地 の処理, 例. 保存, 例. 材料の添加によるもの; 베이킹; 베이커리 製品; 製品の保存
- A23G ココア;カカオ製品, 例. チョコレート;ココアまたはカカオ製品の代用品;菓子;チュウインガム;アイスクリーム;それらの製造
- A23K 動物に特に適した飼料;その製造に特に適した方法
- A23L A21DまたはA23BからA23Jまでに包含されない食品, 食料品, または非アルコール性飲料;その調製または処理, 例. 加熱調理, 栄養改善, 物理的処理
- A47B テーブル;机;事務用家具;キャビネット;たんす;家具の一般的細部
- A61B 診断;手術;個人識別
- A61G 病人または身体障害者に特に適した輸送, 乗りもの, または設備
- A61K 医薬用, 歯科用又は化粧用製剤
- A61M 人体の中へ, または表面に媒体を導入する装置
- A61P 化合物または医薬製剤の特殊な治療活性
- A63H 玩具, 例. こま, 人形, フープ, 積木

Bセクション 処理操作;運輸

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
社会基盤	コミュニケーションロボット	インテリジェントコミュニケーションロボット、案内、遠隔操作ロボットなどに適用可能。	久野義徳		B25J	2006-042780	18.2.20	第4512830	24.3.16	0601-34
社会基盤	コミュニケーションロボットとその動作方法	介護ロボット、ガイドロボット、店員ロボット、ウェーターロボット等のサービスロボットに広く適用可能。	久野義徳		B25J	2007-213775	19.8.20	第4949969	20.12.5	0707-16
情報通信	外力検出方法及び検出装置	ロボットやマニピュレータ、工作機械、車椅子、乗物等の可動体に作用する外力を検出するために広く利用することができる。	辻俊明		B25J	2007-341556	19.12.29	第4988545	26.4.4.	0708-19
情報通信	外力検出インターフェースの故障検知方法	ロボットやマニピュレータ等に作用する外力を検出する外力検出インターフェースの故障検知方法に関し、外力検出インターフェースのセンサの故障を検知し、正しい外力を推定できるようにしたものである。	辻俊明		B25J	2010-131795	22.6.9	第5512406	22.5.21	1004-01
製造技術	疎水性ゼオライトの製造方法	医療用酸素濃縮器には高性能な酸素濃縮機能をもつゼオライトが使用されている。このゼオライトは通常、親水性であるため空気中に含まれる水分の吸着により酸素濃縮性能が経時変化にともない低下する。そこで、そのゼオライトに対し疎水化処理を施すことで酸素濃縮機能を増加させることができるものと思われる。また、有機物／水系における有機物の選択吸着も疎水化処理によりその増加が期待できる。	杉山和夫		B01J	2006-166303	18.6.15	第4887493	23.12.22	0603-51
製造技術	超音波振動子の共振周波数追従装置	超音波洗浄機、超音波カッター、超音波溶着機、超音波研磨機などの共振周波数追従装置の小型化を図り、超音波振動子を含むシステムのインテリジェント化を図ることができる。	高崎正也		B06B	2007-300839	19.11.20	第5165346	24.12.28	0707-15
製造技術	孔内の液体を除去する方法とそれを実施する装置	プリント基板などの孔部に溜まった水分等を除去する方法とその実施装置を提供する。本発明は超音波を利用して除去を行うため、プリント基板上の多数の孔について効率的、かつ迅速に除去作業を行う事ができる。	高崎正也	名古屋工業大学	B08B	2013-035723	25.2.26			1301-38
製造技術	ナノ粒子生成方法及びレーザカラーマーキング方法	金コロイド粒子をレーザーにより制御し、赤、青、黄の発色が可能な、カラーマーキング技術を提供。本発明により、カラーレーザーマーキングが可能であり、極めて広範囲な製造技術に対する応用が期待される。	池野順一		B22F B82B	2005-053481	17.2.18	第4792573	23.8.5	0502-29
製造技術	加工誤差予測のためのコンピュータプログラム、加工誤差予測装置およびその予測結果に基づいて工具経路を修正する装置	工具の形状誤差や撓みに起因する加工誤差を高速に予測可能な装置を提供。	金子順一	広島県	B23C B23Q	2009-083216	21.3.30	第5309288	25.7.12	0902-47

Bセクション 処理操作：運輸

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
製造技術	超短パルスレーザを用いた微細加工方法及び装置	生物・医療分野等で求められているガラス薄板の溝加工や、装飾品の模様加工など、広い分野で応用可能。	池野順一	独立行政法人理化学研究所	B23K	2006-051965 (30条)	18.2.28	第5008052	24.6.8	0602-43
製造技術	レーザカラーマーキング方法	装飾品を始めとして、様々な製品にカラーマーキングを形成するために利用することができる。また、携帯電話、パソコン、時計、自動車等の工業製品では、個別化を図り、それを偽造防止や盗難防止にも役立て、セキュリティ機能を高めようとする要求にも対応可能。	池野順一		B23K B41J	2006-051966	18.2.28	第4487072	22.4.9	0602-44
製造技術	レーザインプリント装置及び方法	ガラス部品の精度を維持しつつ、エネルギーロスを伴わずに、局部表面に効率よく微細構造を形成し、ガラス部品の高付加価値化を図ることができるレーザインプリント装置。	池野順一		B23K	2007-043575	19.2.23	第4465480	22.2.23	0612-22
製造技術	ガラス薄板の3次元加工方法	光学機器、MEMS、電子工学、医療機器など、幅広い分野において、ガラス薄板を成形加工するために利用。	池野順一		B23K	2007-325797	19.12.18	第5096903	24.9.28	0710-21
製造技術	光透過型複合材料のマーキング方法とマークを付した構造材	① 光透過型複合材料の生産や、それを構造材として使用する車両、船舶、航空機、鉄道、住宅等の光透過型複合材料に対し、識別情報、管理情報、商標、ロゴマーク等の各種のマークや記号 ② 各種の装飾の形成	池野順一		B23K	2007-341019	19.12.28	第5226300	25.3.22	0711-26
製造技術	曲面形状と視線との交差座標導出方法	NCプログラムを実行したときの被削物の削り残しや削り過ぎを事前に検証する切削シミュレーション、あるいは、NCプログラムを作成する際の製品モデルから工具経路を生成する処理や、製品形状と工具軸との干渉を判定する処理などに適用可能。	金子順一		B23Q	2007-182243	19.7.11	第4949953	24.3.16	0705-10
製造技術	研磨方法及び研磨装置	本発明の研磨方法では、SiCやサファイアのような難加工材を対象とする場合でも、高効率、かつ、高品位での研磨が可能である。	土肥俊郎		B24B	2007-547959	18.11.29	第4752072	23.6.3	P0511-23JP
製造技術	SiO _x 粉を含む成形体および砥石、それを用いた研削方法	遊離砥粒を含むスラリーを使わずに鏡面が得られるので、砥粒の利用効率が高く、スラリー廃液の処理コストがかからない。大面積ウェハを加工する場合、研磨装置の小型化が図れるし、加工速度が早い。加えて、本発明の砥石を用いて乾式加工した場合は、湿式加工の場合に比べて、被加工材の洗浄が容易で、能率的である。	池野順一	電気化学工業株式会社	B24B B24D	2006-053070	18.2.28	第4890883	23.12.22	0602-46
製造技術	研削加工用砥石の製造装置及び製造方法	レンズやフィルタなどの光学部品の研磨に用いられる研削加工用砥石の製造装置及び製造方法に関するものである。本発明は、電気泳動を利用して砥粒を電極上に堆積させることを特徴とし、表面形状の優れた砥石を作業性良く製造できる。	池野順一	埼玉県／株式会社タナ力技研	B24D	2007-158686	19.6.15	第5178060	25.1.18	0704-03

Bセクション 処理操作;運輸

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
製造技術	自己診断機能を有する複合部材とその製造方法	繊維強化プラスチックなどの複合部材であって、部材内部の欠陥を非破壊検査するための「自己診断機能」を備えた複合部材と、その製造方法に関し、特に、自己診断機能を簡便且つ安価な構成で実現。	蔭山健介		B32B	2004-323166	16.11.8	第4224587	25.5.31	0408-10
製造技術	カラーマーキング法とカラーマークが形成された糖衣製品	医薬品や食品など、各種の製品を製造する分野において、その製品に直接、識別情報を付与。	池野順一		B41M	2007-327159	19.12.19	第5280046	25.4.5	0710-22
製造技術	磁気浮上装置	本発明の磁気浮上装置は、電力増幅器の数を減らすことで、小型化及び低コスト化が可能。	水野毅		B60L	2009-116185	21.5.13	第5236571	23.6.1	0904-03
製造技術	波力発電実験装置	波力発電に興味を抱かせる教材用の波力発電実験装置を提供する。本考案によれば発生する電力を数量的に把握できるため、発電エネルギーについて定量的な学習が可能となる。	山本利一		B60N	2011-001998	23.4.11	実用新案登録 3168667	24.11.16	1103-57UM
製造技術	発電装置及び発行パイ	① 波の力を利用して発電する波力発電装置、発光パイ。 ② 各種乗物の振動や設備機械の振動等を利用した発電装置。 ③ 波力発電などの関心を高めるための教材。	山本利一		B63B	2008-080296	20.3.26	第5133106	26.12.26	0803-42
製造技術	磁気浮上制御装置	磁気浮上する物体に作用する磁力を制御可能とした磁気浮上制御装置。	水野毅		B65G	2011-057968	23.3.16	第5670231		1103-52
製造技術	シート吸着方法	紙やフィルム等のシートを真空吸着する方法であり、複数枚重ねられたシートから1枚のシートだけを吸着保持できる特性を有する。本発明は、紙類やフィルム等の生産現場において、シートを1枚ずつ移動する作業において広く応用が考えられる。	高崎正也		B65H	2013-035724	25.2.26			1301-39
ナノテク・材料	岩塩型リチウムフェライトとその製造方法、炭酸ガスの吸収方法、吸収装置及び分離装置	炭酸ガス吸収材や炭酸ガスの分離が必要な分野。	柳瀬郁夫		B01D B01J	2008-079578	20.3.26	第5279310	25.5.31	0712-29
ナノテク・材料	アルキンの還元三量化によるベンゼン誘導体の位置選択的合成方法およびそれを用いる触媒(30条適用出願)	ベンゼン誘導体の生産分野。	永澤明		B01J	2005-261996	17.9.9	第4538634	22.7.2	0504-01
ナノテク・材料	静電塗布方法及び装置	比較的速い成膜速度で、面内均一性の高い薄膜の成膜が可能な、薄膜の製造方法及びこの製造方法に利用できる薄膜の製造装置を提供。	福田武司		B05B B05D	2009-191877	21.8.21	第5414046	25.11.22	0907-28

Bセクション 処理操作;運輸

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
ナノテク・材料	有機薄膜の成膜方法とそれを用いて形成した太陽電池	基板上に均一な有機薄膜を成形することができる成膜方法、ならびに当該成膜方法によって疎水性シリコン単結晶基板上に生成した太陽電池を提供する。	白井肇		B05D	2012-037573	24.2.23			1201-42
ナノテク・材料	マイクロプラズマ生成装置、プラズマレイ顕微鏡、及びマイクロプラズマ生成方法	材料の加工や測定などにおいて高い空間分解能を実現することが可能な微小なマイクロプラズマ生成装置。	白井肇		B82B	2003-007438	15.3.15	第3858093	23.8.5	0210-08
ライフサイエンス	ゲル構造物の製造方法及びこの方法で製造されたゲル構造物	製薬、食品、バイオテクノロジー、およびこれらの周辺技術分野。また、これらの応用分野に製品を供給している技術分野。各種の医薬品開発製造に係わる市場、食品類の開発製造に係わる市場、臨床試験関連市場、化合物毒性評価機関など。	西垣功一		B01J B32B B81B	2004-253184	16.8.31	第4399596	21.11.6	0407-07
ライフサイエンス	多種微量試料の注入、移行方法	医薬品開発製造、食品類の開発製造、臨床試験関連、化合物毒性評価。	西垣功一		B01J	2005-042885	17.2.18	第3978500	19.7.6	0502-28 (外国出願済 /US,CN, GE)
ライフサイエンス	有機太陽電池用色素として有用な分子内ドナーアクセプター型分子	有機太陽電池用色素として有用なフラーレン(閉殻空洞状の多数の炭素原子による構造体)を機能化した新たな化合物を提供する。係る化合物を用いた太陽電池は低コストであり、かつ光電変換効率も高いことが実証されている。	石丸雄大		B82Y	2012-059072	24.3.15			1201-43

IPC (サブクラス)

- B01D 分離
- B01J 化学的または物理的方法、例、触媒、コロイド化学;それらの関連装置
- B05B 霧化装置;噴霧装置;ノズル
- B05D 液体または他の流動性材料を表面に適用する方法一般
- B06B 機械的振動の発生または伝達一般
- B08B 清掃一般;汚れ防止一般
- B22F 金属質粉の加工;金属質粉からの物品の製造;金属質粉の製造
- B23C フライス削り
- B23K ハンダ付またはハンダ離脱;溶接;ハンダ付または溶接によるクラッドまたは被せ金;局部加熱による切断、例、火炎切断;レーザービームによる加工
- B23Q 工作機械の細部;構成部分、または付属装置、例、倣いまたは制御装置
- B24B 研削または研磨するための機械、装置、または方法
- B24D 研削、バフ加工、または刃砥ぎ用工具
- B25J マニプレータ;マニプレータ装置を持つ小室
- B32B 積層体、すなわち平らなまたは平らでない形状、例、細胞状またはハニカム状、の層から組立てられた製品
- B41J タイプライタ;選択的プリンティング機構、すなわち版以外の手段でプリンティングする機構;誤植の修正
- B41M 印刷、複製、マーキングまたは複写方法;カラー印刷

B60L	電氣的推進車両の推進装置
B60N	他に分類されない乗客設備
B63B	船舶またはその他の水上浮揚構造物; 艀装品
B65G	運搬または貯蔵装置, 例. 荷積みまたは荷あげ用コンベヤ; 作業場コンベヤシステムまたは気体式チューブコンベヤ
B65H	薄板状または線条材料, 例. シート, ウェブ, ケーブル, の取扱い
B81B	マイクロ構造技術
B82B	個別の原子, 分子, または限られた数の原子または分子の集合を区別された単位として操作しながら形成されたナノ構造; その製造または処理
B82Y	ナノ構造物の特定の使用または応用; ナノ構造物の測定または分析; ナノ構造物の製造または処理

Cセクション 化学;冶金

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
エネルギー	フェノキサジン系化合物及び放射線検出方法	放射線利用において、および、原子力等の放射線利用施設などにおける人体への被曝量管理などの放射線量検知材としての応用可能。	時田澄男		C07D C07F	2002-084898	14.3.26	第4029149	19.10.26	0303-18
エネルギー	放射線検出用発色材及び放射線検出ラベル	放射線を取り扱う医療、研究施設さらには原子力発電所などの放射線利用施設では、人体への効率的な被曝低減対策と徹底した漏洩対策が求められている。放射線被曝状況を短時間に簡単に判断必要な場所に適する。	時田澄男		C07D	2005-169055	17.6.9	第4370379	21.9.11	0502-27
エネルギー	放射線検出用発色剤および放射線検出用材料	放射線検出赤色発色剤。水溶液のみならずゲルとしての検出材料として応用可能。ゲルとしての検出材料は、適当な形状、寸法に成形した後に、検出材料として利用可能。	太刀川達也		C07D	2008-042704	20.2.25	第5105362	24.10.12	0712-34
エネルギー	カラーフォーマー、オルガノゲルおよび放射線検出材料	固体状で使用でき、かつ検出感度も高い放射線検出用発色剤に適した化合物を提供することができる。さらに本発明によれば、この化合物を用いて作成したオルガノゲルを提供でき、このオルガノゲルは、放射線検出に用いることができる固体状の材料である。	太刀川達也		C07D	2009-036063	21.2.19	第5330854	25.8.2	0812-32
製造技術	疎水性ゼオライトの製造方法	医療用酸素濃縮器には高性能な酸素濃縮機能をもつゼオライトが使用されている。このゼオライトは通常、親水性であるため空気中に含まれる水分の吸着により酸素濃縮性能が経時変化にともない低下する。そこで、そのゼオライトに対し疎水化処理を施すことで酸素濃縮機能を増加させることができるものと思われる。また、有機物／水系における有機物の選択吸着も疎水化処理によりその増加が期待できる。	杉山和夫		C01B	2006-166303	18.6.15	第4887493	23.12.22	0603-51
製造技術	レーザインプリント装置及び方法	ガラス部品の精度を維持しつつ、エネルギーロスを伴わずに、局部表面に効率よく微細構造を形成し、ガラス部品の高付加価値化を図ることができるレーザインプリント装置。	池野順一		C03B	2007-043575	19.2.23	第4465480	22.2.23	0612-22
製造技術	ガラス薄板の3次元加工方法	光学機器、MEMS、電子工学、医療機器など、幅広い分野において、ガラス薄板を成形加工するために利用。	池野順一		C03B	2007-325797	19.12.18	第5096903	24.9.28	0710-21
製造技術	超短パルスレーザを用いた微細加工方法及び装置	生物・医療分野等で求められているガラス薄板の溝加工や、装飾品の模様加工など、広い分野で応用可能。	池野順一	独立行政法人理化学研究所	C03C	2006-051965 (30条)	18.2.28	第5008052	24.6.8	0602-43
製造技術	ガラス着色方法	装飾品を始めとする各製品のレーザカラーマーキングや、記録媒体等に適用可能。	池野順一		C03C	2007-223634	19.8.30	第4731530	23.4.28	0707-17

Cセクション 化学;冶金

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
製造技術	エリトロ-2-アミノ1,2-ジフェニルエタノールの光学分割方法およびマンデル酸の光学分割方法	化合物であるerythroADPE並びにマンデル酸の新たな光学分割方法を提供する。本発明によれば前期化合物の製造プロセスを短縮・簡略化させることができる。	設楽浩明		C07B C07C	2013-024783	25.2.12			1209-21
製造技術	自己診断機能を有する複合部材とその製造方法	繊維強化プラスチックなどの複合部材であって、部材内部の欠陥を非破壊検査するための「自己診断機能」を備えた複合部材と、その製造方法に関し、特に、自己診断機能を簡便且つ安価な構成で実現。	蔭山健介		C08J	2004-323166	16.11.8	第4224587	20.12.5	0408-10
ナノテク・材料	マイクロプラズマ生成装置、プラズマアレイ顕微鏡、及びマイクロプラズマ生成方法	材料の加工や測定などにおいて高い空間分解能を実現することが可能な微小なマイクロプラズマ生成装置。	白井肇		C01B C23F	2003-007438	15.3.15	第3858093	18.9.29	0210-08
ナノテク・材料	ゾルゲル導電性ガラス、及びそれを用いた光機能素子	導電性高分子を安定かつ均一に分散させたゾルゲル導電性ガラスを提供する。係る素子を利用することにより、信頼性が高く、低コストの発光・受光デバイスが実現可能となる。	鎌田憲彦	日本放送協会	C01B	2003-410513	15.12.9	第4743743	23.5.20	0310-05
ナノテク・材料	岩塩型リチウムフェライトとその製造方法、炭酸ガスの吸収方法、吸収装置及び分離装置	炭酸ガス吸収材や炭酸ガスの分離が必要な分野。	柳瀬郁夫		C01G	2008-079578	20.3.26	第5279310	25.5.31	0712-29
ナノテク・材料	フェライト微粒子の製造方法	加熱炉内において脂肪族ヒドロキシ多価カルボン酸が自己燃焼し、それによる発熱がフェライト形成の熱量の一部となるため、短時間で効率よくフェライト化反応を促進させることができる。更に、基本的に超音波噴霧法であるから、従来技術と同様、装置の大型化が容易で大量生産に適する効果もある。	平塚信之		C01G	2008-283175	20.11.4	第5286621	25.6.14	0809-18
ナノテク・材料	ゾルゲル導電ガラス、これを含んだ光導電素子および発光素子	ゾルゲル導電ガラスを用いた光関連素子に関する発明であって、低温プロセスで製造が可能であり、発光・受光素子の大面積化、低コスト化を図ることができる。	鎌田憲彦	日本放送協会	C03B	2003-288132	15.8.6	第4371303	21.9.11	0305-02
ナノテク・材料	アルキンの還元三量化によるベンゼン誘導体の位置選択的合成方法およびそれを用いる触媒(30条適用出願)	ベンゼン誘導体の生産分野。	永澤明		C07B C07C C07F	2005-261996	17.9.9	第4538634	22.7.2	0504-01

Cセクション 化学;冶金

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
ナノテク・材料	自己組織型キラルブロープおよびこれを用いた被検査キラル物質の絶対配置決定方法	分子式が同じであっても、その構造が“右手”と“左手”のような関係で重ね合わせることができない異性体が存在する分子(キラリティー)を持つ医薬品のなかには、それら光学異性体間で薬理作用・毒性などに差異があり、光学純度の高い医薬品の開発が必要。本発明は創薬事業においてその絶対配置と光学純度を決める過程において有用である。	久保由治		C07D C07F	2006-041991	18.2.20	第4742265	23.5.20	0512-26
ナノテク・材料	フタロシアニン重合体およびその製造方法	有機太陽電池や光記憶媒体、或は青色顔料などの材料となるフタロシアニンの重合体及びその合成方法に関する発明である。従来方法に比べ製造過程を簡略化でき、かつ品質の安定した製品を供給できる。	本多善太郎		C07G	2013-029405	24.1.18			1210-24
ナノテク・材料	複合蛍光体の分画方法、及び、複合蛍光体の画分	生体内環境のリアルモニタリングにセンサとして利用可能な複合蛍光体及びその製造(分画)方法を提供する。本発明によれば従来に較べて、より定量的な生体内環境測定が可能となる。	福田武司		C09K	2013-180080	25.8.30			1307-14
ナノテク・材料	炭化シリコンの作製方法、炭化シリコン、及び炭化シリコンの作製装置	次世代の半導体基板材料の炭化シリコン単結晶基板を、エネルギー的に優位な方法で製造する技術を提供。基板自体を高温度に処理する工程が不要で、産業的に実用化可能性のある技術。半導体産業全般。	白井肇		C23C	2004-146779	16.5.17	第4411433	21.11.27	0404-01P
ライフサイエンス	フタロシアニンを側鎖に持つ発光材料及びその製造方法	フタロシアニンを側鎖に持つ発光材料及びその製造方法に関する。	石丸雄大		C07B C07D C07F	2010-197708	22.9.3	第5650959	26.11.21	1006-10
ライフサイエンス	アミノ基を有する可溶性一置換フタロシアニンの製造方法	アミノ基を有する可溶性一置換フタロシアニンを効率的に合成できる、フタロシアニンの製造方法。	石丸雄大		C07D C09B	2010-023099	22.2.4	第5629473	26.10.10	0909-34
ライフサイエンス	tetrakis-アリル置換フタロシアニンおよびその製造方法	高分子への導入や低温プラズマで重合が可能であり、有機溶媒に対し可溶性のある新規フタロシアニン(顔料の一種)を提供する。本発明によるフタロシアニンは、有機薄膜太陽電池や有機半導体素子等に利用が可能である。	石丸雄大		C07D C09B	2011-032871	23.2.18	第5651037	26.11.21	1011-30
ライフサイエンス	C60-ポリフィリン共有結合体	新規なフラーレンC60-ポリフィリン共有結合体とその利用法に関する。	石丸雄大		C07D C07F	2010-262174	22.11.25			1006-11
ライフサイエンス	有機太陽電池用色素として有用な分子内ドナーアクセプター型分子	有機太陽電池用色素として有用なフラーレン(閉殻空洞状の多数の炭素原子による構造体)を機能化した新たな化合物を提供する。係る化合物を用いた太陽電池は低コストであり、かつ光電変換効率も高いことが実証されている。	石丸雄大		C07D C07F	2012-059072	24.3.15			1201-43

Cセクション 化学;冶金

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
ライフサイエンス	tetrakis-トリアルキルまたはフェニルシリルエチニル置換アタロシアニンおよびその製造方法	有機溶媒に対して可溶性であり、特異な蛍光特性を示すフタロシアニン(フタル酸の環状化合物)を提供する。本化合物は、有機薄膜太陽電池や有機半導体素子として利用可能である。また、その蛍光特性を利用することで紙幣の偽造防止やラベリング用色素として用いることができる。	石丸雄大		C07F	2012-059068	24.3.15			1201-44
ライフサイエンス	シアリルラクトサミン結合 dendリマー化合物	インフルエンザウィルスによる感染阻害活性が高い dendリマー化合物(樹状高分子化合物)を提供する。本発明による化合物を含有する医薬は、ウィルスの感染予防やその治療において極めて高い効果が期待できる。	幡野健	静岡県立大学	C07H	2005-077276	17.3.17	第4930929	24.2.24	0502-26
ライフサイエンス	カテプシンE特異的阻害剤	自己免疫疾患に対する創薬。	西垣功一	独立行政法人科学技術振興機構	C07K C12N	2006-166952	18.6.16	第4979992	24.4.27	0601-30
ライフサイエンス	ペプチドアプタマーライブラリーの作製方法および用途	ペプチド創薬。	西垣功一	独立行政法人科学技術振興機構	C07K C12N C40B	2007-328060	19.12.19	第5210620	25.3.1	0710-23
ライフサイエンス	特定部位のアミノ酸を置換した緑色蛍光蛋白質またはそのホモログを用いたカルシウムセンサー蛋白質	筋肉の収縮、神経興奮性やホルモン分泌、酵素活性の変化などの各種の細胞機能の調節因子として、生体機能の維持および調節に不可欠な役割を担っているカルシウム濃度の生体内での変動を、従来のものに比べ極めて高感度で測定するカルシウムセンサー蛋白質を提供するもので、その利用価値は高く、生体機序の解明や医学・創薬といった分野に大きく貢献するものである。	中井淳一		C07K C12N	2009-289789	21.12.21	第5669080	26.12.26	0906-14
ライフサイエンス	新規プチペド及びその使用	新規ペプチドとその使用に関する。より具体的には、酵素活性に影響を与えるペプチドと該ペプチドを使用した酵素の検出方法に関する。	西垣功一	九州大学	C07K C12Q	2010-060658	22.3.17	第5640271	26.11.7	0911-45Pro
ライフサイエンス	新規な成長ホルモン分泌促進因子受容体阻害ペプチド	成長ホルモン受容体の働きを抑制する阻害剤としてのペプチド(各種のアミノ酸が繋がってできた分子系統群)の提供を目的とする。成長ホルモンの分泌過剰に起因した巨人症等の疾患に対する治療薬開発に大きく貢献できる。	坂井貴文		C07K C12N C12P	2010-052626	22.3.10	第5697127	27.2.20	0912-47
ライフサイエンス	mRNA/cDNA-タンパク質連結体作製用リンカーとそれを用いたヌクレオチド-タンパク質連結体の精製方法	進化工学的ディスプレイ技術のなかで、mRNA(メッセンジャー-RNA)/cDNA-リンカー-タンパク質連結体を合成するのに必要なヌクレオチドDNA/リンカーと前期連結体の精製方法。	根本直人		C07K C12N	2011-000608	23.1.5			1008-19

Cセクション 化学;冶金

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
ライフサイエンス	特定部位のアミノ酸を置換した緑色蛍光蛋白質又はそのホモログを用いたカルシウムセンサー蛋白質	従来のカルシウムセンサーよりも、さらに、感度及び反応性に優れたカルシウムセンサー蛋白質、及び、該蛋白質をコードする遺伝子の提供。	大倉正道		C07K C12N	2010-232788	22.10.15			1009-24
ライフサイエンス	シアル酸チオグリコシドポリマー	インフルエンザウィルスの感染制御に効果を示す水溶性ポリマーの提供。	松岡浩司		C07H	2006-260450	18.9.26	第5103613	24.10.12	0605-07
ライフサイエンス	チオグリコシド酸結合 dendroliマー化合物	インフルエンザウィルスの感染制御に効果を示す dendroliマーの提供。	松岡浩司		C07H	2006-226338	18.8.23	第5282258	25.6.7	0605-08
ライフサイエンス	チオシアロシド型オリゴ糖を含む糖鎖 dendroliマーの製造方法及びその利用	タミフルR(リン酸オセルタミビル)耐性ウィルス対応インフルエンザ薬。インフルエンザウィルスのノイラミニダーゼ活性を有効に阻害する、抗インフルエンザ薬の開発。	松岡浩司	中部大学	C07H	2009-055892	21.3.10	第5481731	26.2.28	0802-39Pro
ライフサイエンス	シアルル α (2→6) ラクトースを含有化合物及びその使用	タミフルR(リン酸オセルタミビル)耐性ウィルス対応インフルエンザ薬。インフルエンザウィルスのノイラミニダーゼ活性を有効に阻害する、抗インフルエンザ薬の開発。	松岡浩司	中部大学	C07H	2008-059624	20.3.10	第5283033	25.6.7	0803-41
ライフサイエンス	シアル酸誘導体の製造方法及びインフルエンザウィルス阻害剤としての利用	皮内、皮下、経口(例えば、吸入なども含む)、経皮及び経粘膜への投与を含み、治療上適切な投与経路に適合するように製剤化可能。	松岡浩司		C07H	2008-150046	20.6.9	第5327839	25.8.2	0804-02
ライフサイエンス	FRETを利用した酵素活性測定基質及びその製造方法	本発明の基質は、FRET効果を利用して酵素活性を検出するものであり、共重合反応により煩雑な工程を経ることなく製造することが可能であり、また、製造コストも安価抑えることができる。	松岡浩司		C08F C12Q	2010-068027	22.3.24	第5697129	27.2.20	1003-69
ライフサイエンス	被検体生物の同定方法、この方法に使用する内部標準用DNA組生物及びその製造方法	従来、微生物を含む生物の同定方法には表現型が用いられて来たが、種の数が増大である微生物においては係る方法に限界がある。本発明は、遺伝子型による生物種同定方法であって、規格精度並びに同定精度を高めた同定方法を提供できる。	西垣功一		C12N C12Q	2006-546647	17.12.2	第5024784	24.6.29	P0409-13JP
ライフサイエンス	c DNA/mRNA-タンパク質連結体の効率的合成法	バイオテクノロジーにおけるタンパク質の合成効率を向上させ、コストと時間を低減させた、メッセンジャーRNAなどのタンパク質連結体の合成方法を提供する。	根本直人		C12N C12P	2010-212870	22.9.22	第5733784	27.4.24	0906-21Pro

Cセクション 化学;冶金

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
ライフサイエンス	ゲノムプロファイリング映像から特徴点を抽出する方法、並びに該方法で得られた特徴点群を用いた遺伝子型による種同定方法および類縁性同定方法	ゲノムプロファイリング画像から特徴点を抽出する方法、並びに該方法で得られた特徴点群を用いた遺伝子型による種同定方法および類縁性同定方法。	西垣功一		C12N C12Q	2000-123448	12.4.25	第4527841	22.6.11	0912-52
ライフサイエンス	糖転流の促進方法	植物細胞中においてRSX1遺伝子の発現を増大させるなど、その発現を調節し、該植物細胞を含む植物の糖転流を制御する方法である。また、本発明は、糖転流が野生型とは異なる様式に変更された植物である。さらに、本発明には植物の糖転流経路を変更するためのキットも含まれる。	西田生郎		C12N	2010-110837	22.5.13	第5669083	26.12.26	1002-62

IPC (サブクラス)

- C01B 非金属元素;その化合物
- C01G サブクラスC01DまたはC01Fに包含されない金属を含有する化合物
- C03B ガラス、珪物またはスラグウールの製造または成形;または、ガラス、珪物またはスラグウールの製造または成形における補助プロセス
- C03C ガラス、うわ薬またはガラス質ほうろうの化学組成;ガラスの表面処理;ガラス、珪物またはスラグからの繊維またはフィラメントの表面処理;ガラスのガラスまたは他物質への接着
- C07B 有機化学
- C07C 非環式化合物または炭素環式化合物
- C07D 複素環式化合物
- C07F 炭素、水素、ハロゲン、酸素、窒素、硫黄、セレンまたはテルル以外の元素を含有する非環式、炭素環式または複素環式化合物
- C07G 構造不明の化合物
- C07H 糖類;その誘導体;ヌクレオシド;ヌクレオチド;核酸
- C07K ペプチド
- C08F 炭素-炭素不飽和結合のみが関与する反応によってえられる高分子化合物
- C08J 仕上げ;一般的混合方法;サブクラスC08B、C08C、C08F、C08GまたはC08Hに包含されない後処理
- C09B 有機染料または染料製造に密接な関連を有する化合物;媒染剤;レーキ
- C09K 他に分類されない応用される物質;他に分類されない物質の応用
- C12K 酵素学または微生物学のための装置
- C12N 微生物または酵素;その組成物
- C12P 発酵または酵素を使用して所望の化学物質もしくは組成物を合成する方法またはラセミ混合物から光学異性体を分離する方法
- C12Q 酵素または微生物を含む測定または試験方法(免疫試験G01N33/53) そのための組成物または試験紙;その組成物を調製する方法御;微生物学的または酵素学的方法における状態応答制
- C23C 金属質材料への被覆;金属質材料による材料への被覆;化学的表面処理;金属質材料の拡散処理;真空蒸着、スパッタリング、イオン注入法、または化学蒸着による被覆一般;金属質材料の防食または鍍皮の抑制一般
- C23F 機械方法によらない表面からの金属質材料の除去
- C40B コンビナトリアルケミストリ;ライブラリ、例、ケミカルライブラリ、コンピュータ内でのライブラリ

Eセクション 固定構造物

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
社会基盤	落下水膜の振動抑制装置及び抑制方法	堰やダムから落下する水膜の振動を抑制する装置とその抑制方法に関し、特に、落下水膜の振動に起因する低周波音の発生を防止する。	佐藤 勇一		E02B	2005-127850	17.4.26	第4182225	20.9.12	0502-30

IPC (サブクラス)

E02B 水工 (船舶のリフトE02C;しゅんせつE02F)

Fセクション 機械工学;照明 加熱 武器 爆破

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
エネルギー	快適度センサおよびこれを用いた空気調和装置	人の感じる快適度を推測する快適度センサ、及び係る快適度センサを用いた空調装置に関する発明であり、業務用或は家庭用エアコンや、自動車用のカーエアコンへの応用が期待できる。	綿貫啓一		F24F	2012-209365	24.9.24			1207-14
社会基盤	変位抑制装置	地震等において、什器や機器等の設置物の変位(水平方向・回転方向等)を抑制するなどの変位抑制装置。	斎藤正人		F16D F16F	2011-133389	23.6.15	第5659090	26.12.5	1104-02
製造技術	風水車及び風水車の設計方法	周速比λが高い風車は、翼の先端が高速で回転するため、安全性を重視した場合に、街中への設置が難しい。また、風車の回転に伴って発生する風切り音や低周波騒音は、多くの人々に不快感を与えるため、風車の設置場所が制限される。こうした事情を考慮して創案したものであり、翼が低速で運動し、街中に安心して設置することができる風車または水車(風水車)を提供し、また、その風水車の設計方法を提供する。	平原裕行		F03D	2010-140766	22.6.21	第5496788	26.3.14	1004-02
製造技術	磁気浮上制御装置	磁気浮上する物体に作用する磁力を制御可能とした磁気浮上制御装置。	水野毅		F16C	2011-057968	23.3.16	第5670231	26.12.26	1103-52
製造技術	孔内の液体を除去する方法とそれを実施する装置	プリント基板などの孔部に溜まった水分等を除去する方法とその実施装置を提供する。本発明は超音波を利用して除去を行うため、プリント基板上の多数の孔について効率的、かつ迅速に除去作業を行う事ができる。	高崎正也	名古屋工業大学	F26B	2013-035723	25.2.26			1301-38
ナノテク・材料	岩塩型リチウムフェライトとその製造方法、炭酸ガスの吸収方法、吸収装置及び分離装置	炭酸ガス吸収材や炭酸ガスの分離が必要な分野。	柳瀬郁夫		F01N	2008-079578	20.3.26	第5279310	25.5.31	0712-29
ナノテク・材料	アクティブ除振装置	アクティブな除振装置や制振装置等の必要性の少ない大きな推力を有する電磁アクチュエータ。	石野裕二		F16F	2004-351712	16.12.3	第4328859	21.6.26	0411-14

IPC(サブクラス)

- F01N 機械または機関のためのガス流消音器または排気装置一般;内燃機関用ガス流消音器または排気装置
- F03D 風力原動機
- F16C 軸;たわみ軸;たわみ被覆の中で運動を伝達するための機械的な手段;クランク軸機構の要素;ピボット;枢着;伝動装置, 継ぎ手, クラッチまたはブレーキ要素以外の回転工学の要素;軸受
- F16D 回転伝達用継ぎ手
- F16F ばね;緩衝装置;振動減衰手段
- F24F 空気調節;空気加湿;換気;しゃへいのためのエアカーテンの利用
- F26B 固体材料または固形物から液体を除去することによる乾燥

Gセクション 物理学

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ号
エネルギー	蛍光性ウラン錯体を形成する化合物、その合成方法、ウラン測定用蛍光プローブ及びウランの測定方法	ウランを含む廃液及び廃棄物中のウラン濃度測定に使用される蛍光プローブとなる化合物ならびに測定方法を提供する。本発明によれば安価な装置を用いても制度の高い定性分析ならびに定量分析が可能となる。	齋藤伸吾	独立行政法人 日本原子力研究開発機構	G01N G21C	2012-034711	24.2.21			1201-47
エネルギー	キャピラリー等速電気泳動法を用いる複数回大容量注入-濃縮-分離-分取精製法	高度の分離が可能なキャピラリー等速電気泳動法を応用した水溶性物質の精製方法を提供する。本発明によれば高純度の水溶性物質を大量かつ迅速に得ることができ、特に、ウランなどの微量の検出対象物と結合する検出プローブの高純度精製に適している。	齊藤伸吾	独立行政法人 日本原子力研究開発機構	G01N	2012-193742	24.9.4			1206-10
エネルギー	フェノキサジン系化合物及び放射線検出方法	放射線利用において、および、原子力等の放射線利用施設などにおける人体への被曝量管理などの放射線量検知材としての応用可能。	時田澄男		G01T	2002-084898	14.3.26	第4029149	19.10.26	0303-18
エネルギー	電磁波検出体及びその製造方法	照射された電磁波を色変化により容易に観察できる、紫外線やγ線などの電磁波検出体。原子力関係、医療関係など安全対策。	時田澄男		G01T	2002-264996	14.9.11	第3610374	16.10.29	0207-04
エネルギー	放射線検出用発色材及び放射線検出ラベル	放射線を取り扱う医療、研究施設さらには原子力発電所などの放射線利用施設では、人体への効率的な被曝低減対策と徹底した漏洩対策が求められている。放射線被曝状況を短時間に簡単に判断必要な場所に適する。	時田澄男		G01T	2005-169055	17.6.9	第4370379	21.9.11	0502-27
エネルギー	放射線検出用発色剤および放射線検出用材料	放射線検出赤色発色剤。水溶液のみならずゲルとしての検出材料として応用可能。ゲルとしての検出材料は、適当な形状、寸法に成形した後に、検出材料として利用可能。	太刀川達也		G01T	2008-042704	20.2.25	第5105362	24.10.12	0712-34
エネルギー	非接触給電装置	工場の搬送車やエレベータ等の移動体、あるいは、コードレス家電製品や携帯機器など、従来、非接触給電装置が用いられている各種装置に広く適用して、特性の改善を図り、高効率、高力率、無負荷依存性を実現可能。	阿部茂		G05F	2007-534289	18.8.7	第4644827	22.12.17	P0508-12JP
エネルギー	動画像処理装置及び動画像処理方法	エレベータ乗客等の画像解析、スーパーマーケット等への入退出者の画像管理、顕微鏡映像の解析、半導体装置の位置合わせ等、画像処理を伴う広範な分野。	阿部茂		G06T	2007-036070	19.2.16	第4552018	22.7.23	0701-24
社会基盤	解析システム、解析方法、プログラムおよび機械装置	基礎に支持される上部構造物の地震時の挙動を評価するために用いられる解析システム、解析モデルに基づき数値解析する解析方法、その解析方法を実現するためのコンピュータ可読なプログラム、振動実験を行うための試験装置に、解析モデルとして組み込まれる機械装置。	斎藤正人		G01M	2009-506318	20.3.21	第5077968	24.9.7	P0611-19JP

Gセクション 物理学

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
情報通信	分光画像撮像装置	撮像光路に配置した可変フィルターの透過波長の走査速度を時間的に制御することによって、広範囲の波長域で常に鮮明な分光画像を撮像することができる分光画像撮像装置を提供する。	豊岡了		G01J	2000-37642	12.2.16	第3297737	14.4.19	0002-01
情報通信	相対位相検出器、相対位相検出方法および情報読み取り装置	高速度データ通信に用いられる相対位相検出器並びに検出方法を提供する。本発明に係る装置を利用することにより、通信速度がテラビット/秒による光データ通信の実現が可能となる。	塩田達俊		G01J	2011-508336	22.3.29	第5617066	26.9.26	P1401-59JP
情報通信	外力検出方法及び検出装置	ロボットやマニピュレータ、工作機械、車椅子、乗物等の可動体に作用する外力を検出するために広く利用することができる。	辻俊明		G01L	2007-341556	19.12.29	第4988545	24.5.11	0708-19
情報通信	外力検出インターフェースの故障検知方法	ロボットやマニピュレータ等に作用する外力を検出する外力検出インターフェースの故障検知方法に関し、外力検出インターフェースのセンサの故障を検知し、正しい外力を推定できるようにしたものである。	辻俊明		G01L	2010-131795	22.6.9	第5512406	26.4.4.	1004-01
製造技術	電子スペックル干渉法を用いた変形計測方法および装置	物体表面をレーザ光で照射したときに生ずる斑点模様の干渉を利用したスペックル干渉法を用いて、観測物体の動的な変形や振動、歪などを高精度に計測する装置、並びに方法を提供する。	豊岡了		G01B	2002-275775	14.9.20	第3955899	19.5.18	0207-05
製造技術	超音波干渉縞を用いた形状解析方法及び装置	超音波を用いて物体の表面や背面、或は内部の空隙などの形状を表示させる方法並びに装置を提供する。本発明によれば複雑な装置構成や調整手順を要することなく、被検体の形状を立体的に把握することが可能となる。	加藤寛		G01B G01N	2004-209468	16.7.16	第4392497	21.10.23	0405-04P
製造技術	粒子計測装置および方法	デジタルホログラフィによる、粒子の3次元速度の計測、粒子径の計測。	川橋正昭		G01B G01P	2006-125149	18.4.28	第4774517	23.7.8	0603-50
製造技術	光分岐装置	本発明の光分岐装置は、一本の光束から、狭い間隔で平行する安定した光束を生成することが可能であり、また、この平行光束の間隔や位相を簡単に調整することができる。 また、光学系の小型化を可能にする。	門野博史		G01B G02B	2009-054042	21.3.6	第5117430	24.10.26	0812-27
製造技術	機械電気交換素子及びその製造方法	感度が高く、より強い音圧に耐えられ、しかも広い周波数帯域での使用可能な機械電気変換素子。	蔭山健介		G01H	2006-124251	18.4.27	第4810661	23.9.2	0603-49 (外国出願済/US,EP,GE)
製造技術	力測定装置	外力を測定する力測定装置に関し、微小な力でも正確に測定可能。	水野毅		G01L	2011-184771	23.8.26			1107-11
製造技術	レーザインプリント装置及び方法	ガラス部品の精度を維持しつつ、エネルギーロスを伴わずに、局部表面に効率よく微細構造を形成し、ガラス部品の高付加価値化を図ることができるレーザインプリント装置。	池野順一		G02B	2007-043575	19.2.23	第4465480	22.2.23	0612-22

Gセクション 物理学

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
製造技術	曲面形状と視線との交差座標導出方法	NCプログラムを実行したときの被削物の削り残しや削り過ぎを事前に検証する切削シミュレーション、あるいは、NCプログラムを作成する際の製品モデルから工具経路を生成する処理や、製品形状と工具軸との干渉を判定する処理などに適用可能。	金子順一		G05B	2007-182243	19.7.11	第4949953	24.3.16	0705-10
製造技術	加工誤差予測のためのコンピュータプログラム、加工誤差予測装置およびその予測結果に基づいて工具経路を修正する装置	工具の形状誤差や撓みに起因する加工誤差を高速に予測可能な装置を提供。	金子順一	広島県	G05B	2009-083216	21.3.30	第5309288	25.7.12	0902-47
製造技術	ガラス着色方法	装飾品を始めとする各製品のレーザーカラーマーキングや、記録媒体等に適用可能。	池野順一		G11B	2007-223634	19.8.30	第4731530	23.4.28	0707-17
ナノテク・材料	顕微鏡及び表面観察方法	マイクロメータ領域以上での表面観察及び表面改質。	白井肇		G01B	2003-004364	15.1.10	第3837531	18.8.11	0209-07
ナノテク・材料	マイクロプラズマ生成装置、プラズマレイ顕微鏡、及びマイクロプラズマ生成方法	材料の加工や測定などにおいて高い空間分解能を実現することが可能な微小なマイクロプラズマ生成装置。	白井肇		G01B	2003-007438	15.3.15	第3858093	18.9.29	0210-08
ナノテク・材料	超伝導フォトン検出器	次世代フォトン検出器。	田井野徹	独立行政法人産業技術総合研究所	G01J G01T	2005-028261	17.2.3.	第4822715	23.9.16	0411-18
ナノテク・材料	超伝導トンネル接合を用いたフォトン検出器	宇宙から飛来する光や宇宙線のスペクトル観察、或は医学分野におけるレントゲン撮影などの分野に利用可能なフォトン検出器に関する発明である。検出素子の基盤構造に工夫を加えることにより、製品歩留まりの向上と作成プロセスの簡易化を図っている。	田井野徹	独立行政法人産業技術総合研究所	G01J	2012-158881	24.7.17			1205-04
ライフサイエンス	ゲル構造物の製造方法及びこの方法で製造されたゲル構造物	製薬、食品、バイオテクノロジー、およびこれらの周辺技術分野。また、これらの応用分野に製品を供給している技術分野。各種の医薬品開発製造に係わる市場、食品類の開発製造に係わる市場、臨床試験関連市場、化合物毒性評価機関など。	西垣功一		G01N	2004-253184	16.8.31	第4399596	21.11.6	0407-07
ライフサイエンス	表面プラズモン測定装置および測定方法	医薬品開発製造、食品類の開発製造、臨床試験関連、化合物毒性評価。	坂井貴文		G01N	2004-263457	16.9.10	第4420335	21.12.11	0407-08

Gセクション 物理学

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
ライフサイエンス	多種微量試料の注入、移行方法	医薬品開発製造、食品類の開発製造、臨床試験関連、化合物毒性評価。	西垣功一		G01N	2005-042885	17.2.18	第3978500	19.7.6	0502-28 (外国出願済/US,CN、GE)
ライフサイエンス	ウィルス、微生物の検出方法	感染症の原因病原体の検出及び同定をさらに迅速かつ正確に行うために、従来方法とは異なる方法論に基づいた新たな手法の開発に期待が寄せられている。そこで、本発明は、感染病原体を迅速かつ正確に検出及び同定する方法、及び該方法に使用される試薬又はキットの提供を目的。	幡野健		G01N	2008-283976	20.11.5	第5137081	24.11.22	0809-20
ライフサイエンス	新規な成長ホルモン分泌促進因子受容体阻害ペプチド	成長ホルモン受容体の働きを抑制する阻害剤としてのペプチド(各種のアミノ酸が繋がってできた分子系統群)の提供を目的とする。成長ホルモンの分泌過剰に起因した巨人症等の疾患に対する治療薬開発に大きく貢献できる。	坂井貴文		G01N	2010-052626	22.3.10	第5697127	27.2.20	0912-47
ライフサイエンス	ゲノムプロファイリング映像から特徴点を抽出する方法、並びに該方法で得られた特徴点群を用いた遺伝子型による種同定方法および類縁性同定方法	ゲノムプロファイリング画像から特徴点を抽出する方法、並びに該方法で得られた特徴点群を用いた遺伝子型による種同定方法および類縁性同定方法。	西垣功一		G01N	2000-123448	12.4.25	第4527841	22.6.11	0912-52
ライフサイエンス	発光の色調変化による複数微生物の同時検出方法	感染病原体を迅速かつ正確に検出及び同定する方法、及び該方法に使用される試薬又はキットの提供を目的とする。複数の微生物及び／又は毒素の検出を迅速かつ便に行うことを可能ならしめるものであり、微生物等の検出技術の向上に貢献するものである。	幡野健		G01N	2010-045452	22.3.2	第5605542	26.9.5	1002-55
ライフサイエンス	ダブルバイオチンアンカー型リガンド固定化分子	リガンドを固定するための分子に関する。具体的には、リガンドを固相支持体に固定する手段として、バイオチン又はバイオチン誘導体を使用したリガンド固定化分子。	松岡浩司		G01N	2011-028447	23.2.14	第5717281	27.3.27	1101-40
ライフサイエンス	擬似体内音声生成装置、擬似体内音声提供システム	極めて高精度に体内音環境を再現することが出来、新生児に対して精神的に安定できる環境を提供できる。	志村洋子		G10L	2004-329019	16.11.12	第4482624	22.4.2	0408-11

IPC (サブクラス)

- G01B
- G01G
- G01H
- 長さ、厚さまたは同種の直線寸法の測定;角度の測定;面積の測定;表面または輪郭の不規則性の測定
- 重量測定
- 機械振動または超音波、音波または亜音波の測定

G01J	赤外線,可視光線または紫外線の強度,速度,スペクトル,偏光,位相またはパルスの測定;色の測定;放射温度測定
G01K	温度の測定;熱量の測定;他に分類されない感温素子
G01L	力,応力,トルク,仕事,機械的動力,機械的効率,または流体圧力の測定
G01M	機械または構造物の静的または動的つり合い試験;他に分類されない構造物または装置の試験
G01N	材料の化学的または物理的性質の決定による材料の調査または分析
G01P	直線速度または角速度,加速度,減速度または衝撃の測定;運動の有無の指示;運動の方向の指示
G01T	原子核放射線またはX線の測定
G02B	光学要素,光学系,または光学装置
G05B	制御;調整
G05F	電気的変量または磁気的変量の調整システム
G06F	電気的デジタルデータ処理
G06T	イメージデータ処理または発生一般
G09G	静的手段を用いて可変情報を表示する表示装置の制御のための装置または回路
G10L	音声の分析または合成;音声認識;音声処理;音声または音響の符号化と復号化
G11B	記録担体と変換器との間の相対運動に基づいた情報記録
G21C	原子炉

Hセクション 電気

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
エネルギー	ヒューズリンク及びヒューズ	I2t値の低減(高感度)、コスト低減と小型化が可能なヒューズリンク。	小林信一		H01H	2009-504070	20.3.12	第5116119	24.10.26	P0701-27JP (外国出願済/KR)
エネルギー	ヒューズエレメント及びヒューズ	コスト低減と小型化が可能な高感度ヒューズエレメントに適する。半導体保護ヒューズ、電力用ヒューズなど。	小林信一		H01H	2008-030834	20.2.12	第4998890	24.5.25	0712-33
エネルギー	固体酸化物型燃料電池	電池燃料を供給する燃料極と空気を供給する空気極との間に、この空気極で生成されるイオンを燃料極へ伝える電解質が設けられて構成される固体酸化物型燃料電池に関するものである。	荒木稚子		H01M	2009-098797	21.4.15	第5371041	25.9.27	0901-35
エネルギー	直列電気二重層コンデンサ装置	電気二重層コンデンサを使う蓄電装置のコンデンサ間の電圧を簡単な構成で均一化でき、ハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池車、電力蓄電装置、非常用電源等に広く用いることができる。	阿部茂		H02J H02M	2005-222496	17.8.1	第4119985	20.5.9	0507-11
エネルギー	非接触給電装置	工場の搬送車やエレベータ等の移動体、あるいは、コードレス家電製品や携帯機器など、従来、非接触給電装置が用いられている各種装置に広く適用して、特性の改善を図り、高効率、高力率、無負荷依存性を実現可能。	阿部茂		H02J H02M	2007-534289	18.8.7	第4644827	22.12.17	P0508-12JP
エネルギー	非接触給電装置	走行路に沿って移動する移動体に非接触で電力を供給する非接触給電装置に関し、三相給電を可能にしたものである。	阿部茂		H02J	2010-029593	22.2.14	第5462019	26.1.24	1002-58
エネルギー	非接触給電	高効率で運転可能な非接触給電装置を提供する。本発明は電気自動車などの移動体への給電、或はコードレス電話器やシェーバー等の家電製品への給電など広く利用が可能である。	阿部茂		H02J H02M	2013-025811	25.2.13			1210-25
エネルギー	動画画像処理装置及び動画画像処理方法	エレベータ乗客等の画像解析、スーパーマーケット等への入退出者の画像管理、顕微鏡映像の解析、半導体装置の位置合わせ等、画像処理を伴う広範な分野。	阿部茂		H04N	2007-036070	19.2.16	第4552018	22.7.23	0701-24
情報通信	適応フィルタ	誤差信号の平均自乗誤差を十分小さくすることができ、予測精度が向上し、また、入力信号の時間的变化が激しい場合でも、所望信号への追従が可能。	島村徹也		H03H	2005-218605	17.7.28	第4324676	21.6.19	0507-10P
情報通信	高速度カメラの画像処理装置、画像処理方法及び高速度カメラ装置	一瞬の動きや短時間の高速現象を撮影する高速度カメラの画像から鏡面反射を除くことが可能であり、高速度カメラの画像を用いて、人の動き、動植物の変化、車の衝突など様々な高速現象を解明する分野に適用可能。	辻俊明		H04N	2009-024057	21.2.4	第5165611	24.12.28	0812-30

Hセクション 電気

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
製造技術	磁気浮上装置	浮上体への大電力供給が可能で、かつ浮上体の安定制御機構を必要としない磁気浮上装置を提供する。本発明は、磁気浮上搬送装置や磁気浮上鉄道、或は磁気浮上軸受け等の分野における利用が考えられる。	水野毅		H01F	2013-049172	25.3.12			1301-40
製造技術	機械電気交換素子及びその製造方法	感度が高く、より強い音圧に耐えられ、しかも広い周波数帯域での使用可能な機械電気変換素子。	蔭山健介		H01G H01R	2006-124251	18.4.27	第4810661	23.9.2	0603-49 (外国出願済 /US,EP,GE)
製造技術	SiO _x 粉を含む成形体および砥石、それを用いた研削方法	遊離砥粒を含むスラリーを使わずに鏡面が得られるので、砥粒の利用効率が高く、スラリー廃液の処理コストがかからない。大面積ウェハを加工する場合、研磨装置の小型化が図れるし、加工速度が早い。加えて、本発明の砥石を用いて乾式加工した場合は、湿式加工の場合に比べて、被加工材の洗浄が容易で、能率的である。	池野順一	電気化学工業株式会社	H01L	2006-053070	18.2.28	第4890883	23.12.22	0602-46
製造技術	弾性表面アクチュエータ、移動子、及びステータ	物体を直接駆動するアクチュエータとしての弾性表面波モータは、カメラの自動焦点レンズ駆動用モータ、ブラインドやカーテンの駆動等への応用。特に、高速、高推力、高速応答可能な小型アクチュエータ。	高崎正也		H01L H02N	2006-053937	18.2.28	第4923241	24.2.17	0602-42
製造技術	自己診断機能を有する複合部材とその製造方法	繊維強化プラスチックなどの複合部材であって、部材内部の欠陥を非破壊検査するための「自己診断機能」を備えた複合部材と、その製造方法に関し、特に、自己診断機能を簡便且つ安価な構成で実現	蔭山健介		H01L	2004-323166	16.11.8	第4224587	20.12.5	0408-10
製造技術	有機EL素子およびその製造方法	低コスト化を実現した有機EL素子及びその製造方法を提供する。本発明では石炭ピッチなどの廉価材料を発光層として利用するため大幅な低コスト化が期待できる。	福田武司	中央大学	H01L H05B	2012-039202	24.2.24			1201-41
製造技術	ナノ粒子生成方法及びレーザカラーマーキング方法	金コロイド粒子をレーザーにより制御し、赤、青、黄の発色が可能な、カラーマーキング技術を提供。本発明により、カラーレーザーマーキングが可能であり、極めて広範囲な製造技術に対する応用が期待される。	池野順一		H01S	2005-053481	17.2.18	第4792573	23.8.5	0502-29
製造技術	ガラス薄板の3次元加工方法	光学機器、MEMS、電子工学、医療機器など、幅広い分野において、ガラス薄板を成形加工するために利用。	池野順一		H01S	2007-325797	19.12.18	第5096903	24.9.28	0710-21
製造技術	発電装置及び発行バイ	① 波の力を利用して発電する波力発電装置、発光バイ。 ② 各種乗物の振動や設備機械の振動等を利用した発電装置。 ③ 波力発電などの関心を高めるための教材。	山本利一		H02K H02N	2008-080296	20.3.26	第5133106	24.11.16	0803-42

Hセクション 電気

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
製造技術	等価容量型アクチュエータの駆動装置及び駆動方法	等価容量型アクチュエータの駆動装置及び駆動方法は、低コスト高電圧・大電流出力、高速応答性、等の有用性があり、半導体製造システム、超精密加工・組み立てシステム、マイクロマシン等幅広い分野に応用可能。	水野毅		H02N	2008-335598	20.12.28	第5047153	24.7.27	0810-23
製造技術	等価容量型アクチュエータの駆動装置及び駆動方法	静電浮上装置や静電浮上搬送装置、マイクロマシーン用アクチュエータなどに使用されている静電アクチュエータや、半導体製造装置の微細位置制御や高速プリンタの駆動源等に使用されている圧電アクチュエータなどの小型化及び低コスト化を図るために広く利用することができる。	水野毅		H02N	2009-183415	21.8.6	第5393332	25.10.25	0906-23
製造技術	超音波発生装置及び超音波発生方法	超音波発生装置及び超音波発生方法に係り、特に大きな振動振幅を有する弾性表面波(SAW)を励振する超音波発生装置及び超音波発生方法の提供。	高崎正也		H02N	2009-180776	21.8.3	第5638777	26.10.31	0907-27
製造技術	温度差発電の原理学習用教具	温度差発電の仕組みを教える授業や温度差発電の知識の普及を図る展示などに適する。	山本利一		H04N	2006-003876	18.5.23	実用新案登録第3124003	18.7.12	0603-48UM
製造技術	機械電気変換素子、機械電気変換装置及びその製造方法	感度が高く、より強い音圧に耐えられ、しかも広い周波数帯域での使用可能な機械電気変換素子。	蔭山健介		H04R	2010-507250	21.4.7	第5305304	25.7.5	P0801-38JP (外国出願済/US)
ナノテク・材料	フタロシアニン重合体およびその製造方法	有機太陽電池や光記憶媒体、或は青色顔料などの材料となるフタロシアニンの重合体及びその合成方法に関する発明である。従来方法に比べ製造過程を簡略化でき、かつ品質の安定した製品を供給できる。	本多善太郎		H01F H01L	2013-029405	24.1.18			1210-24
ナノテク・材料	顕微鏡及び表面観察方法	マイクロメータ領域以上での表面観察及び表面改質。	白井肇		H01L H05H	2003-004364	15.1.10	第3837531	18.8.11	0209-07
ナノテク・材料	ゾルゲル導電ガラス、これを含んだ光導電素子および発光素子	ゾルゲル導電ガラスを用いた光関連素子に関する発明であって、低温プロセスで製造が可能であり、発光・受光素子の大面積化、低コスト化を図ることができる。	鎌田憲彦	日本放送協会	H01L H05B	2003-288132	15.8.6	第4371303	21.9.11	0305-02
ナノテク・材料	ゾルゲル導電性ガラス、及びそれを用いた光機能素子	導電性高分子を安定かつ均一に分散させたゾルゲル導電性ガラスを提供する。係る素子を利用することにより、信頼性が高く、低コストの発光・受光デバイスが実現可能となる。	鎌田憲彦	日本放送協会	H01L H05B	2003-410513	15.12.9	第4743743	23.5.20	0310-05
ナノテク・材料	光半導体素子及びその製造方法	サファイア基盤上にAlGaIn系のバッファ層を配置し、発光強度の強い深紫外光用のLED並びにその製造方法を提供する。	鎌田憲彦	独立行政法人理化学研究所	H01L	2007-219890	19.8.27	第4538476	22.6.25	0705-05

Hセクション 電気

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
ナノテク・材料	炭化シリコンの作製方法、炭化シリコン、及び炭化シリコンの作製装置	次世代の半導体基板材料の炭化シリコン単結晶基板を、エネルギー的に優位な方法で製造する技術を提供。基板自体を高温度に処理する工程が不要で、産業的に実用化可能性のある技術。半導体産業全般。	白井肇		H01L H05H	2004-146779	16.5.17	第4411433	21.11.27	0404-01P
ナノテク・材料	薄膜結晶化方法及び装置	半導体基板材料の多結晶基板をレーザーアニールに比較して極めて簡単な装置でアモルファス薄膜を熔融し、低コストで再結晶化により構成することが可能。また、基板を大気圧下で短時間の処理で熔融再結晶化することが可能。半導体産業全般に利用可能。	白井肇		H01L	2004-242351	16.8.23	第4701376	23.3.18	0407-06
ナノテク・材料	超伝導フォトン検出器	次世代フォトン検出器。	田井野徹	独立行政法人 産業技術総合 研究所	H01L	2005-028261	17.2.3.	第4822715	23.9.16	0411-18
ナノテク・材料	撮像素子およびその製造方法	受光膜に使用できる物質の制限が少なく、容易に低コストで高性能が得られ、大面積化も可能な、新たな撮像素子とその製造方法を提供。	鎌田憲彦		H01L H04N	2007-135468	19.5.22	第5207436	25.3.1	0701-28
ナノテク・材料	保護膜及び保護膜その製造方法	半導体デバイス、特に有機ELや有機太陽電池等の有機機能素子の表面を保護するための保護膜およびその製造方法を提供する。	鎌田憲彦	日本放送協会	H01L H05B	2008-095017	20.4.1	第5141342	24.11.30	0801-37
ナノテク・材料	非晶質薄膜の結晶化装置及び方法、並びに薄膜トランジスタの製造方法	従来の点(同心円状)状のプラズマジェットによる非晶質薄膜の結晶化に比べて、より短時間で、均一な多結晶薄膜を得ることができる非晶質薄膜の結晶化装置及び結晶化方法、並びに薄膜トランジスタの製造方法を提供することが可能。	白井肇		H01L	2008-270942	20.10.21	第5207535	25.3.1	0809-17
ナノテク・材料	光半導体素子及びその製造方法	光半導体素子及びその製造方法に関し、特に、Ⅲ-V族化合物半導体を用いた深紫外発光素子技術。	鎌田憲彦	独立行政法人 理化学研究所	H01L	2010-233508	19.8.27	第5120861	24.11.2	1103-53S
ナノテク・材料	スピン偏極度測定方法及び測定メータ、並びにこれを用いた論理演算ゲート及び信号暗号化復号化方法	電子スピンを利用した新たな技術による論理演算素子を提供する。従来の半導体素子を使用したものに較べて小型化、省電力化を図ることができる。	酒井政道		H01L H04L	2011-282394	23.12.22			1110-31
ナノテク・材料	有機薄膜の成膜方法とそれを用いて形成した太陽電池	基板上に均一な有機薄膜を成形することができる成膜方法、ならびに当該成膜方法によって疎水性シリコン単結晶基板上に生成した太陽電池を提供する。	白井肇		H01L H05B	2012-037573	24.2.23			1201-42
ナノテク・材料	超伝導トンネル接合を用いたフォトン検出器	宇宙から飛来する光や宇宙線のスペクトル観察、或は医学分野におけるレントゲン撮影などの分野に利用可能なフォトン検出器に関する発明である。検出素子の基盤構造に工夫を加えることにより、製品歩留まりの向上と作成プロセスの簡易化を図っている。	田井野徹	独立行政法人 産業技術総合 研究所	H01L	2012-158881	24.7.17			1205-04

Hセクション 電気

27.5.26現在

分野	名称	市場応用	発明者	共同出願人	IPC	出願番号	出願日	特許登録	登録日	問合せ番号
ナノテク・材料	熱電変換素子の電極形成方法	ビスマスナノワイヤーを用いた熱電変換素子の電極を安定的に形成できる電極形成方法を提供する。係る技術は、高性能のゼーベック素子やペルチェ素子等の産業上広く用いられる熱電変換素子の製造に応用することが可能である。	長谷川靖洋		H01L	2013-019838	25.2.4			1211-30
ナノテク・材料	熱電変換モジュール	上記の電極形成方法により得られた熱電変換素子を利用した高効率の熱電変換モジュールを提供する。係るモジュールは、超伝導体の冷却や液化ガスからの冷熱エネルギーの回収などの分野で広く用いることができる。	長谷川靖洋		H01L	2013-019839	25.2.4			1211-31
ナノテク・材料	マイクロプラズマ生成装置、プラズマアレイ顕微鏡、及びマイクロプラズマ生成方法	材料の加工や測定などにおいて高い空間分解能を実現することが可能な微小なマイクロプラズマ生成装置。	白井肇		H05H	2003-007438	15.3.15	第3858093	18.9.29	0210-08
ライフサイエンス	C60-ポリフィリン共有結合体	新規なフラレーンC60-ポリフィリン共有結合体とその利用法。	石丸雄大		H01L	2010-262174	22.11.25			1006-11
ライフサイエンス	有機太陽電池用色素として有用な分子内ドナーアクセプター型分子	有機太陽電池用色素として有用なフラレーン(閉殻空洞状の多数の炭素原子による構造体)を機能化した新たな化合物を提供する。係る化合物を用いた太陽電池は低コストであり、かつ光電変換効率も高いことが実証されている。	石丸雄大		H01L H01M	2012-059072	24.3.15			1201-43

IPC (サブクラス)

- H01F 磁石;インダクタンス;変成器;それらの磁気特性による材料の選択
- H01G コンデンサ;電解型のコンデンサ、整流器、検波器、開閉装置、感光装置また感温装置
- H01H 電気的スイッチ;継電器;セレクトア;非常保護装置
- H01L 半導体装置、他に属さない電気的固体装置
- H01M 化学的エネルギーを電気的エネルギーに直接変換するための方法または手段、例、電池
- H01P 導波管;導波管型の共振器、線路または他の装置
- H01Q 空中線
- H01R 導電接続;互いに絶縁された多数の電気接続要素の構造的な集合体;嵌合装置;集電装置
- H01S 誘導放出を用いた装置
- H02J 電力給電または電力配電のための回路装置または方式;電気エネルギーを蓄積するための方式
- H02K 発電機、電動機
- H02M 交流-交流、交流-直流または直流-直流変換装置、および主要な、または類似の電力供給システムと共に使用するための装置;直流または交流入力-サージ出力変換;そのための制御また
- H02N 他類に属しない電機
- H03H インピーダンス回路網、例、共振回路;共振器
- H04L デジタル情報の伝送、例、電信通信
- H04N 画像通信、例、テレビジョン
- H04R スピーカ、マイクロホン、蓄音機ピックアップまたは類似の音響電気機械変換器;補聴器;パブリックアドレスシステム
- H05B 電気加熱;他に分類されない電気照明
- H05H プラズマ技術